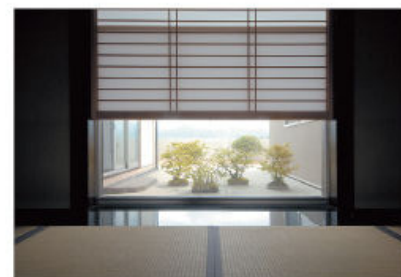




玄関 左手に丸窓を配した格天井の玄関。玄関床は玄關石、上り框は栗なぐり仕上げ、踏込みの床はケヤキ。玄関の左手はお父様、右手は若夫婦の空間。



上／玄関ポーチ 懸架格子の引違い戸の外側に、ガラス戸を設けた。左／坪庭 玄関ホールを上げれば、ガラスの向こうに坪庭の様貌。

素材の選択により 共通性をもたせる

S邸を建築するにあたってのテーマは、二世帯住宅で常に問題となるお父様の生活環境と若夫婦の生活環境の違いをうまく取り込んだものにする事でした。

お父様は富山県に深いつい田舎造りの建築を求め、若夫婦は現代風建築を求めていました。「和十洋」の組み合わせの中で、外観や内部空間のつながりを持ちつつ、各世代の住まいに対する空間デザインを融合させることのひとつの解答として、S邸は設計されました。

外観デザインは、玄関をはさんで、お父様の部分は伝統的な日本建築としながら、若夫婦の部分では板張りのモダン建築となつています。お父様の空間には本格的な床の間と仏間を持った座敷を設け、茶の間は梁をあらわにした吹抜けに、一方、若夫婦の部分では、傾斜屋根の開放的な吹抜けリビング。この二つを融合させたポイント、素材の選択にあります。屋根は瓦葺きとして同じ色のものを使用し、外観では木が主材料となり、視覚的に共通性を持たせたことにより融合が可能になりました。

内部デザインは、お父様の空間では日本建築の美としての木種の組み合わせと白木と漆塗りのペーシストを主としていますが、若夫婦の部分では、コンクリート・ガラス・珪藻土などのモダン素材をペーシストしています。

両者の空間にそれぞれ個性をもたせると同時に、ネオ素材のぶつかり合いの中で、空間デザインの融合を図っています。

(竹中健次)

「和十洋」の組み合わせで 二世帯住宅の空間デザイン

施工：(有)丹保建設 設計：一級建築士事務所 竹中建築計画工房



上/リビング 若夫婦のリビングは、階段上から全体を見渡すことができる開放的な吹抜け。
 左上/浴室 若夫婦の浴室。浴槽の形が特徴的な明るい空間。
 左下/トイレ 手洗いボウルが落ち葉の雰囲気に。



東側外観

アプローチ



上/上座敷 出書院をもつ床の間に仏間を併設。床柱はイチイ、床板は榎材。
 右/広縁 和室続き間を囲むように設けられた広縁。薄畳敷きに杉目透かし障子。
 左/茶の間 お父様の茶の間には部分的に縁なし畳を置いた。吹抜け部分は漆喰塗り。
 下/和室 漆塗りの地板を設けた床の間。右の上座敷との間に源氏縁と成欄間。



DATA

施 工：有限会社 丹保建設
 富山県南砺市久戸230 (〒939-1712)
 TEL.0763-52-3141
 FAX.0763-52-6191
 建築部・古民家事業部 オールウェイズ
 (統括：取締役副社長 黒崎秀夫)
 TEL.0763-52-4211
 設 計：一級建築士事務所 竹中建築計画工房
 石川県金沢市片町2-1-1 ハオカビル4階
 (〒920-0981)
 TEL.076-261-7022
 FAX.076-261-7023
 http://www.k-takenaka.com
 E-mail kenz@k-takenaka.com

敷地面積：1,190.14㎡ (360.0坪)
 延床面積：468.26㎡ (141.64坪)
 1階 353.87㎡ (107.04坪)
 2階 114.39㎡ (34.60坪)

構 造：木造軸組工法
 所 在 地：富山県南砺市
 家族構成：父+若夫婦
 撮 影/林安直

